

# 建築と社会

Architecture and Society

2010 No.1061 8  
日本建築協会

■特集予告

9月号/第57回青年技術者  
10月号/建築ストック社会の現在と今後

編集委員会(平成22年度)

- 副会長 友常 本多 松村 孝治
- 編集担当理事 浅野真一朗 上原 正行 木戸 徹 佐藤 栄一 竹中 貞樹 立成 統一 吉村 英祐
- 副委員長 寛 米井 勝山 太郎
- 編集小委員会 計画分科会
- ★計画系 △飯田 匡 鈴木 克彦 田中 直人 高橋 和也 紅谷 昇平 松田 奈緒子 三宅 次郎 守井 吉村 英祐
- ★建築計画系 荒木 宏之 奥村 朋孝 菅野 忠司 神戶 嘉也 木桶 彩子 静 敦夫 下坂 浩和 野田 千夏 枇杷 健一 松森 江 米山 剛史
- ★インテリア 小倉 一平 加藤 力 神谷 浩司 黒柳 亮 田中 浩介 戸井 賢一 戸井 史一 間瀬 一博
- 構造分科会 秋田 智 石田 大三 岸本 光平 小志 淳 志摩 好宣 瀧野 敦夫 角田 耕 難波 尚 橋本 宗明 向井 洋一
- 設備分科会 △赤澤 正治 梶井 宏修 北野 勝也 谷野 太志 夏井 重利 難波 直樹 橋本 廣 福谷 貴廣 梶井 志郎 宮崎 幸三 村上 裕之 渡邊 裕之
- 施工材料分科会 桜井 和男 中川 恒良 平田 茂啓 藤丸 啓一 山岡 篤正
- △吉田 正人
- 法令分科会 近都 幸二 河野 幸一 西林 和佳 濱崎 純 山上 真弓
- △吉田 真弓
- 作品分科会 居内 章夫 池上 明 福垣 和江 井上 雅祐 加嶋 章博 倉橋 樹仁 倉瀬 千子 澤田 純一 戸川 勝之 解野 淳司 豊田 充広 鳥居 久人 西谷 佳代 芳谷 晴彦 増田 敬彦 山田 俊紀
- 監査小委員会 上田 訓将 宇城 英彦 江本 孝弘 永平 達也 前田 浩司 南澤 幸信 森川 隆 赤木 陽 門野 比奈子 川上 将健 熊田 幸也 清水 文紀 菅原 文紀 中川 治彦

◎委員長 ○副委員長 △幹事

印刷 2010年7月25日  
発行 2010年8月1日  
発行人 社団法人日本建築協会  
発行所 社団法人日本建築協会  
大阪市中央区大手前1-7-31  
電話 06-6946-6981  
印刷所 ㈱NPCコーポレーション  
定価 1200円(税込)

Journal of the Architectural Association of Japan

## 特集●再生・受け継ぐ・繋がる

■総論

京都から―“つなぐ”時代のまちづくりデザイン―●三村浩史 12

■各論

歴史的建造物の保存修理と今後の展望●平井俊行 14

まちづくりと連携した市街地型住宅団地再生をめざして  
―京都堀川団地における取り組みと展望―●高田光雄 16

再生・受け継ぐ・繋がる●上杉秀隆 18

京都の都市景観を色彩の側面から●村上幸三郎 19

庭園の再生 長岡天満宮『錦景苑』●山田昌次 20

曳山から考える伝統木造建築の耐震性●西澤英和 22

ものづくり都市・京都まちづくり工業教育から●道越隆夫 24

日本的な空間への試み●馬庭 稔 26

伝統木造構法を未来につなぐ●木下孝一 28

会告 第17回会員作品特集号“私の空間作法”作品募集.  
社日本建築協会東海支部復活50周年記念講演会 建築と都市の未来を語る 1

作品作風 京都府家庭支援総合センター・京都府東山警察署庁舎 4  
太陽生命京都ビル 6

研究の風景 南泰裕研究室●国士館大学理工学部建築学系 8

gallery 気配の形成●山口尚之 10

法令コーナー 「京都市建築物安心安全実施計画」の策定●高木勝英 31

設備の頁 LED照明の普及状況と今後●竹中祐二 32

再読 南海ビルディング [南海ビル] ●山形政昭 33

関西近代建築

このまちが好き 雑多な風景と小さな寄り合い場  
―カマン!メディアセンターの日常―●平川隆啓 37

関西の建築界 中西重裕●古谷隆祥 38  
群像

information 「札幌聖ミカエル教会とアントニン・レーモンド展」―三重大学レーモンドホールと木造モダニズムの系譜―。展示会「ENE-WAY2010」開催。UCFA設立記念企画第1回ニッポン建設映像祭。竹中大工道具館開館25周年記念巡回展 棟梁～堂宮大工の世界～。「新発見!なにわの考古学2010」。「大和百景一館蔵品で巡る奈良・大和路一」。きる、折る、建てる 飛び出せ紙ワザ 茶谷正洋・垂矢折紙建築展。デイヴィッド・アジャイ展OUTPUT。松柏美術館「未来へつなぐ花鳥画」。日米メキシコ交流400周年記念「古代メキシコ・オルメカ文明展 マヤへの道」。2010イタリア・ボローニャ国際絵本原画展と〈特別展示〉タシエス。兵庫県立美術館で「水木しげる・妖怪図鑑」。

月間の動き 平成22年6月分 43

本文 デザイン 高橋善丸

今月の表紙

企画 間瀬一博 企画・写真・デザイン 花城辰男

～涼むまちなみ～

江戸時代に茶店や見世物から発展した川床は、明治に入ると、川の浅瀬の真上や橋の下などへも範囲を広げたとされます。

治水工事により高床形式のみが主流となった現在も、河原で涼む風習は受け継がれ、「仮設的な奥庭」となっている点が興味深いところです。(間瀬一博)

京都市中京区橋下町